

平成 28 年度	環境部の取り組み実績
	<部の構成> 環境総務課、減量業務室、穂谷川清掃工場、東部清掃工場、淀川衛生事業所、 環境保全課、環境指導課

1. 重点施策・事業

(1) 可燃ごみ広域処理施設整備の推進

重点施策・事業における目標	穂谷川清掃工場第3プラントが老朽化したため、新たなごみ焼却施設の整備が課題となっています。平成26年12月に京田辺市との広域連携による可燃ごみ広域処理施設を共同で建設し、運営することに合意し、平成27年7月に「枚方市・京田辺市可燃ごみ広域処理に関する連絡協議会」を設置しました。今後、平成28年度に一部事務組合を設立して、平成35年度の稼働をめざします。
平成28年度の取り組み	京田辺市との広域連携による可燃ごみ広域処理施設を整備するため、事業実施主体となる枚方京田辺環境施設組合を設立し、環境影響評価を実施します。
平成28年度の実績	広域連携による可燃ごみ広域処理施設の整備に向けて、5月に両市で構成する一部事務組合「枚方京田辺環境施設組合」を設立するとともに、同組合により、環境影響評価の事務手続きが進められました。
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(2) 東部清掃工場の長寿命化総合計画の策定

重点施策・事業における目標	稼働8年目を迎える東部清掃工場のごみ焼却施設を適切に維持管理し、安全で安定した焼却処理を継続させるため、基幹的設備の改良を見据えた延命化及び施設保全を包括した長寿命化総合計画を策定します。
平成28年度の取り組み	東部清掃工場の長寿命化総合計画を策定します。 平成28年度当初予算：15,000千円
平成28年度の実績	延命化計画及び施設保全計画を包括した東部清掃工場焼却施設長寿命化総合計画を平成29年3月に策定しました。 平成28年度決算：8,409千円 循環型社会形成推進交付金：2,099千円
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(3) 淀川衛生工場し尿処理施設の改造

重点施策・事業における目標	淀川衛生工場の施設の老朽化や公共下水道の普及に伴うし尿等の処理量の減少に対応し、効率的・効果的な処理を行うため、平成 29 年度にし尿等の希釈放流を開始します。
平成 28 年度の取り組み	し尿等の希釈放流の開始に向けた施設の改造工事を行うとともに、業務棟の解体工事等を行い、業務の集約に向けた取り組みを進めます。 平成 28 年度当初予算：535,000 千円
平成 28 年度の実績	し尿等の希釈放流に向けた、淀川衛生工場改造工事として、土木建築工事、機械設備工事、電気設備工事及び下水道管渠工事の 4 区分に分けて契約し、工事に着手しました。このうち、下水道管渠工事については、平成 28 年 11 月に完成しました。また、淀川衛生事業所業務棟等解体及び整備工事については、7 月に契約し、淀川衛生工場敷地内に駐車場及び洗車場を整備した後、業務棟等の解体を行い、平成 29 年 2 月に工事は完了しました。 平成 28 年度決算：109,982 千円
取り組みに対する達成状況	【 ○ 】

(4) 空き家・空き地対策の推進

重点施策・事業における目標	雑草の繁茂など衛生上問題のある空き家・空き地の所有者等に対し、適切な指導等を行うことにより、管理不良の空き家・空き地の発生を抑制し、生活環境の保全を図ります。
平成 28 年度の取り組み	枚方市空家等対策協議会の答申に基づき、緊急対応の措置や空き地への対応などの制度化に取り組みます。また、「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく対策計画の策定に向けて取り組みます。 平成 28 年度当初予算：1,352 千円
平成 28 年度の実績	枚方市空家等対策協議会の答申に基づき、緊急安全措置や空き地等への対応など市独自の制度を規定した「枚方市空家等及び空き地等の対策に関する条例」を制定し、平成 29 年 4 月から施行しています。 平成 28 年 12 月から、空家等実態調査を開始するとともに、空家等対策計画の策定について、枚方市空家等対策協議会に諮問しました。 平成 28 年度決算：2,951 千円（※補正予算等の対応あり）
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

(5) 地球温暖化対策の推進

重点施策・事業における目標	枚方市地球温暖化対策実行計画に基づき、市民・事業者・行政の各主体による再生可能エネルギーの利用拡大や省エネルギー・省CO ₂ 活動、ペットボトル・プラスチック製容器包装のリサイクルなどによるごみの減量を推進し、市域から排出される温室効果ガスの削減を図ります。	
平成28年度の取り組み	<p>廃プラスチックをはじめ、紙類等のごみの資源化や環境にやさしいライフスタイルへの転換に向けた情報発信、啓発活動等を継続して行います。</p> <p>平成28年度当初予算：196,428千円</p>	
平成28年度の実績	<p>廃棄物減量等推進員総会やひらかた夢工房発表会などにおいてごみの減量等に関する啓発を行うとともに、枚方市地球温暖化対策協議会と連携し、エコライフキャンペーン、ライトダウンキャンペーンや緑のカーテンなどの普及・啓発活動を実施しました。また、再生可能エネルギーの導入拡大に向けて、国や府の動向などについて情報収集を行いました。</p> <p>平成28年度決算：180,428千円</p>	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

2. 行政改革・業務改善

(1) 新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標	
14. 外郭団体等の経営健全化の促進	NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議の経営改善を促進するため、中期的な経営プランの進捗管理の仕組みの構築に向けた検討を進める。	
実績	ひらかた環境ネットワーク会議が環境問題に市と連携して取り組みを続けるとともに、経営基盤の安定を図るため、平成27年度に策定した中期経営プランに基づき、その進捗状況を管理する方法について、当該団体との協議を行った。	
取り組みに対する達成状況		【 ○ 】

改革課題	取り組み内容・目標	
25. 大気汚染測定局の配置等の見直し	市が設置している大気汚染測定局の配置等の見直しに向け、大気環境や交通量などについて、各測定局間の変化の状況を把握する。	
実績	大気環境や自動車交通量等について各測定局の状況を把握するとともに、平成27年度の大気環境測定結果（光化学オキシダント以外の全ての測定項目で環境基準を達成し、低濃度で推移。）を環境データ集として公表した。	
取り組みに対する達成状況		【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
26. し尿処理業務の効率化	淀川衛生工場は、処理施設の老朽化や処理量が減少していることから、希釈放流方式への移行に向け施設の改造工事を実施する。また、業務棟の解体等の工事を実施する。
実績	平成 28 年度当初に単年度工事として淀川衛生工場改造工事の入札を行ったが、不調や契約解除等により予定より遅れが生じた。 そのため、平成 28 年度 12 月補正にて予算の組み替えを行い、平成 29 年 12 月末の希釈放流開始に向けて、平成 29 年 3 月に契約を締結した。また、業務棟の解体等の工事は完了した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
27. ごみ焼却量の削減	手付かず食品等の発生抑制や紙類等のリサイクルの取り組みなどを充実・強化し、ごみの減量化に向けた取り組みを進める。また、家庭系ごみ処理手数料については、適正化の検討を進める。
実績	ごみ処理基本計画・実施計画に基づき、学校園での環境学習、メールマガジンや減量フェア等を通じた情報発信、分別排出に係る啓発活動の実施等、ごみ減量・資源化の取り組みを進めた。また、ペットボトル・プラスチック製容器包装及び紙類のリサイクルに係る施策・取組についても検討を行った。 家庭系ごみ処理手数料の適正化については、事例調査等を進めた。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
28. 事業系ごみ処理手数料の適正化	廃棄物の処理及び清掃に関する法律による排出者責任の考え方に基づき、ごみ処理原価に一致したものとなるよう、事業系ごみ処理手数料改定によるごみ減量の効果を検証する。
実績	事業系ごみ処理手数料の改定前と改定後のごみ搬入量の推移や搬入手数料の推移等を比較し、ごみ減量の効果等を検証した。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-4. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（し尿等処理・施設管理業務）	平成 29 年度の希釈放流にあわせて、民間活力を活用するなど、職員配置の適正化に向け、検討を行う。

実績	<p>し尿処理施設の希釈放流方式への移行については、淀川衛生工場改造工事の入札不調や契約解除等により予定より遅れが生じている。</p> <p>希釈放流方式移行後の職員配置の適正化や、し尿収集車両の減車について、目標達成に向けた検討を進めた。</p>
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-5. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ収集業務）	災害等の発生時において、市の責務として市民生活に著しい影響を与えないために、セーフティネットを確保しながら、段階的な委託に向けた検討を進める。
実績	災害等の発生時において、市民生活の著しい影響を与えないよう、直営率 50%体制を確保するとともに、平成 29 年度からの 3 年間で直営車両の 3 台を段階的に委託（1 台/年、計 3 台）するための検討を行った。検討した内容を基に、平成 29 年度収集業務委託契約において、委託車両(1 台)を増車し、直営車両(1 台)を減車した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
45-6. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（ごみ処理・施設管理業務）	東部清掃工場は現状の運転管理業務の委託を行いながら、安定的かつ効率的な施設運営を継続する。一方、老朽化が進む穂谷川清掃工場については、長年施設の運転・維持管理業務を担ってきた職員の知識・経験・技術力が必要であることから、直営と委託の併用での運転管理とし、焼却炉運転の経験をもった再任用職員の活用を行い、平成35年度の第3プラント休止に向けて、効率的・効果的な人員体制の整備を行う。
実績	東部清掃工場は運転管理業務を委託しているため、その監理には、豊富な知識、経験、技術を持った技術職員が携わることで、安定的かつ効率的な運転管理体制を維持した。穂谷川清掃工場は平成 27 年度正職員退職者の補充として、焼却炉運転等の経験をもった再任用職員 1 名を活用し、効率的・効果的な人員体制整備を行った。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

改革課題	取り組み内容・目標
51. 広域連携によるごみ処理施設の整備	京田辺市と共同で整備する可燃ごみ広域処理施設について、一部事務組合の設置等、広域的な連携を図りながら、平成 35 年度の稼働に向けた取り組みを進める。
実績	平成 28 年 4 月 1 日に総務大臣に対し、京田辺市と連盟で一部事務組合設立申請書を提出し、平成 28 年 5 月 31 日に一部事務組合設立許可があり、平成 28 年 7 月 1 日から一部事務組合「枚方京田辺環境施設組合」での事務を開始した。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(2) 業務改善のテーマ・目標

改革課題	取り組み内容・目標
環境教育・環境学習の充実	試行実施したごみに関する中学校環境学習を精査し、あり方を検討する。また、事業者による環境学習の取り組みや施設見学メニューの拡充により環境教育・環境学習の充実を図る。
実績	<p>試行実施した中学校の環境学習は土曜日の特別授業として取り組んで来たが、ごみ減量施策を多くの中学生に発信するため、平日の一般授業に出向くように整理を行った。また、事業者による環境学習の取り組みや施設見学のメニューを紹介するホームページを充実させるとともに、環境副読本「わたしたちのくらしと環境」に掲載し、小学4年生全員に配布することで、学校園での利用拡大を図った。また、S-EMSの取り組み報告書により、学校園における環境教育の利用状況の把握を行った。</p> <p>高校4校 881人、中学校4校 1,891人、小学校41校 6,682人、幼稚園 保育所 保育園33園 3,985人、延べ13,439人に対して環境学習を実施した。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
大型ごみ持出しサポート収集の実施	家庭ごみ収集において、大型ごみの持ち出しが困難な障害者世帯を対象に、屋内から排出して収集するサービスを実施する。
実績	<p>大型ごみの持ち出しが困難な障害者世帯18世帯（1人世帯 14世帯、2人世帯 4世帯）より、家具類29点、スプリングマットレス3点、その他4点の大型ごみを屋内から排出して収集した。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

改革課題	取り組み内容・目標
公用車の事故防止	無事故・無違反チャレンジコンテストに参加するとともに、交通安全講習会や安全運転・安全作業マニュアル研修等の充実を図る。
実績	<p>無事故・無違反チャレンジコンテストに160人参加した。</p> <p>安全運転作業研修（DVD〔死角に潜む危険〕）、事故事例研修、安全運転実技（誘導）研修を行った。</p> <p>安全運転掲示板を設置し、枚方市内の危険箇所に関して職員周知を図り交通事故防止に努めた。</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

3. 予算編成・執行

- ◆東部清掃工場の売電収益として、約2億5000万円を見込んでいます。

実績	総発電量 32,619,920kWh の 51.3%にあたる 16,725,910kWh の電力を売却し、2億5892万725円の売電収益を得ました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」の売電収益として、約840万円を見込んでいます。

実績	平成28年度の売電収入は2944万2395円となり、リース料を除いた売電収益は838万7795円となりました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆昨年度の取り組みにおいて、水質汚濁常時監視事業における市独自調査地点及び項目等について見直し、予算編成にあたり前年度比で約100万円の経費を削減しました。

実績	市独自調査地点を10地点から3地点に見直したことにより、予算編成にあたり調査委託料を前年度比で約100万円削減しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- その他の実績

実績	新たな財源の確保のため、穂谷川清掃工場余剰電力分の売電を開始しました。発電量7,301,250kwhのうち、余剰電力3,025,310kwhを売却し、3028万3349円の売電収益を得ました。
----	--

4. 組織運営・人材育成

- ◆定期的に部内会議を行い、組織目標の達成に向けた情報共有と進捗管理を行うことで、より効率的、効果的な事務執行を行います。

実績	毎月(年間12回)、部内会議を開催し、目標の達成に向けた情報共有と進捗管理を行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆現場での業務経験の蓄積や継承に必要な技術・知識の向上をめざし、OJTの充実を図るとともに、組織の機動力を最大限引き出すための組織体制を構築します。

実績	通常の指導育成や市民対応や窓口対応以外に、現場で重点的に取り組む項目を設定し、研修を行うなどの取り組みを行いました。また、現場での指導育成や市民対応等についての内容を記録し、現場担当係長間で共有できるようにしました。その他、他市視察の職員による報告会や消防訓練を実施しました。また、技術の向上をめざし、ごみ処理施設技術管理者及び最終処分場技術管理者の資格取得を積極的に行いました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆日常業務における教育訓練にとどまらず、朝礼やミーティングの場も活用し、互いに学び合う職場風土を築くとともに、自ら考え、行動できる自律型職員の育成に努めます。

実績	日々の朝礼や適時ミーティング等において、各担当に係る事案や課題、進捗状況などの共有化を図ったり、職員一人ひとりの意識の向上を図るとともに職員の育成に取り組みました。また、自立型職員の育成に向けても、職場研修の講師を順番制で行うなど、自ら研修目的を理解し、研修を実施しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆運転技能講習を継続的に実施し、交通事故防止とエコドライブの取り組みを行います。

実績	安全運転作業研修（DVD〔死角に潜む危険〕）、事故事例研修、安全運転実技（誘導）研修を行いました。 また、エコドライブ研修や大阪府無事故・無違反チャレンジコンテストへ参加しました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

5. 広報・情報発信

- ◆穂谷川清掃工場内の「ひらかた夢工房」において、講習会や発表会等を開催し、市民ボランティアによる活動を通じてごみ減量やリサイクルに関する情報を広く市民に発信します。

実績	ひらかた夢工房内の市民ボランティアによる講習会・教室・発表会などを計25回開催し、556人の参加がありました。工房には1,666人の来場がありました。 「ひらかた夢工房」発表会を開催し、410人の来場がありました。
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ サプリ村野の「環境情報コーナー」の展示をさらに充実させ、NPO 法人ひらかた環境ネットワーク会議と連携・協力し、省 CO₂ 活動や市の環境保全活動を効果的に PR します。

実績	環境情報コーナーにある枚方の生きもの展示コーナーでは、昆虫標本を充実させるとともに、エコドライブシミュレーターの使用や省エネナビの貸出しなどを行い、省 CO ₂ 活動や環境保全活動の PR を行いました。(研修室 134 回 1,262 人、環境情報コーナー 2,483 人の利用がありました。)
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ 穂谷川清掃工場や東部清掃工場、大型太陽光発電設備「枚方ソラパ」において、小学生等の見学の受け入れなどを行います。

実績	<p>小学生や一般市民等を対象に施設見学を実施しました。</p> <p>穂谷川清掃工場 (施設見学者数：1,003 人 ※減量フェア 652 人含む)</p> <p>東部清掃工場 (施設見学者数：4,830 人 ※小学生 4,343 人含む)</p> <p>枚方ソラパ (施設見学者数：179 人 ※計 3 回の見学会)</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】

- ◆ 自然観察会や講演会の開催や各種啓発キャンペーン、「ひらかたクリーンリバー」など、市民等と連携によるイベントを行います。

実績	<p>マイバッグ・マイボトル持参キャンペーンを 22 回開催、5,892 人に啓発しました。</p> <p>水辺の楽校やセミの抜け殻調査など自然観察会を年 5 回実施するとともに、自然環境を考える講演会を開催しました。(参加者：289 人) また、天の川クリーン&ウォークや船橋川・穂谷川クリーンリバーに対する支援を行いました。(参加者：1,001 人)</p>
取り組みに対する達成状況	【 ◎ 】